

# これがオススメ! 読み聞かせ本

中・高学年向き

学習指導要領で読み聞かせがすすめられて、読み聞かせについてのたくさんの本が出版されています。また、ブックリストもたくさん出ていますが、さて実際に子どもたちに読もうと思うと、どの本がいいのか、どうやって読んであげたらいいのか、困ってしまいます。「これなら楽しく読み聞かせができるよ」という本と読み方を紹介しましょう。

学校を舞台にした本はたくさん出版されています。どの本を読み聞かせすればいいか迷ったことはありませんか。今回は後藤竜二さんの「ひかる！」シリーズの一作目「本気〈マジ〉。負けない！」を紹介しします。

主人公は、負けず嫌いの四年生の女の子「尾関ひかる」。お母さんと弟の三人でマンモス団地に住んでいます。父親がいないことや経済的に余裕がないことなどが、ひかるの言葉を聞いているとわかってきます。

題名を読んだ時、「えっ」という反応が返ってきました。クラスにいる男の子と同じ名前だったからです。教室は、この話は面白そうだという空気に包まれました。始業式の朝、小学生の「私（ひかる）」と大人の海堂先生が校門まで本気で競争する様子に笑いが起こります。でも、去年

までは大さわぎ学級だったと読むと、シーンという雰囲気に変わります。話が進むにつれて、自分勝手だった学級のみんなが助け合い、団結し、力を合わせていきます。下を向いて不安そうだった顔が、ほっとする笑顔に変わりました。

学年が上がると、今まで何も言わなかった友達が自分の考えをはっきりと言ったり、言う立場から言われる立場に逆転したりと、子ども同士の関係に変化が起こります。戸惑い、どうしたらよいかわからないとき、子どもたちは物語の世界に入って、登場人物に自分を投影し、自分自身のことを考え、自信をもつきっかけをつかむのではないでしょうか。

子どもたちが「がんばろう」という気持ちももてる本を読み聞かせていきましょう。



## ひかる！〈1〉 本気〈マジ〉。 負けない！

後藤竜二／作  
スカイエマ／絵  
(株式会社そうえん社)